

「青森×神戸・事業共創ビジネスプランコンテスト」モデルプラン最終審査会 概要

1 ビジネスプラン一覧

番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
1	UGC コーヒープロフェッショナル・ラ グノオコラボによる商品開発ならびに 販売強化	株式会社ラグノオ ささき（弘前市）	営業本部本部長 柳井 俊彦 氏 （やない としひこ）
	【連携者】 UCC コーヒープロフェッショナル株式会社（神戸市） 【ビジネスプランの概要】 UCC ブランドの珈琲原料を使用したお菓子を開発する。開発した商品は青森を中心としたラグノオ店舗での販売をする他、UGC コーヒープロフェッショナルの業務用販路で販売してもらい商品開発だけでなくお互いの販路を活かした新たな販売を目指す。		
番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
2	青森のシードルの関西プロモーション	株式会社 A-WORLD （十和田市）	代表取締役 古里 宣光 氏 （ふるさと のりみつ）
	【連携者】 株式会社百姓堂本舗（弘前市）・株式会社 ワールド・ワン（神戸市） 【ビジネスプランの概要】 (株)ワールド・ワン（神戸市本社）と連携し、A-WORLD のオリジナルシードルをはじめ、(株)百姓堂本舗（kimori）や弘前シードル協会（連携について協議中）とタイアップし、青森りんごの専門店「あら、りんご。」神戸本店、ルクア大阪店において、青森シードルの試飲、販売を行う。 また、りんごスイーツと合うシードルをペアリングするイベントを神戸本店で開催。青森のシードルを神戸・大阪でより多くの方に親しんでもらうきっかけを作る。		
番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
3	オリバーソース（神戸）を活用した青 森県の B 級グルメ & 地元のお酒のペア リング選手権！	タグボート株式会 社（平川市）	企画部 今村 星 氏 （いまむらあかり）
	【連携者】 オリバーソース株式会社（神戸市） 【ビジネスプランの概要】 青森県内では、地区ごとに自慢の B 級グルメが存在する。今回、オリバーソースを活用した B 級グルメと、それぞれの地域のお酒のベストペアリング大賞を決定する「ペアリング選手権」を、地区ごとに開催する。そして、県内地区大会ファイナリストが出場するチャンピオンシップスを神戸のオリバーソース本社にて開催。関西の粉もの文化の中心「どろソース」で、青森県の食文化をもっと華やかにしたいと願う企画！ 同時にオリバーソースが青森県に普及することで、神戸と青森の人と食文化の往来をより活性化させる。		

番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
4	RINGO JAM NFT プロジェクト	株式会社 Ridun (弘前市)	代表取締役 永井 温子 氏 (ながい あつこ)
	<p>【連携者】 有限会社カサアンドカンパニー (京都市)</p> <p>【ビジネスプランの概要】 Web3 技術とりんごをはじめとする青森の多様なコンテンツを活用し、国境を超えたグローバル(分散型)コミュニティを作ること、青森、神戸にとどまらない地域間連携などを含めた新たな事業創出のモデル構築を目指す。 その足掛かりとして、まずは NFT 付き「グローバル商品」として、りんごを活用した商品を (有) カサアンドカンパニーと共同開発する。併せてコミュニティづくりを進め、他のコンテンツへの展開に取り組んで行く。</p>		
番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
5	地域商社がつくりだす青森と神戸のモノ・コトによる地域共創	株式会社ツクリダス (青森市)	代表取締役 千葉 武 氏 (ちば たけし)
		公益社団法人 青森県観光国際交流機構 (青森市)	専務理事 秋田 佳紀 氏 (あきた よしのり)
	<p>【連携者】 株式会社フェリシモ (神戸市)</p> <p>【ビジネスプランの概要】 公益社団法人青森県観光国際交流機構と (株) ツクリダスが連携し、青森に地域商社の仕組みを構築。青森のモノ・コトづくりを、(株) フェリシモをはじめとする神戸事業者と連携して全国・世界に販路を拡大。地域産業を成長させ、「モノ・コトによる地域共創」を目指す。 伝統工芸からは、こぎん刺し・裂き織り・津軽塗り、地域産業からはりんご箱・青森藍に着目。青森の強みであるモノづくりと神戸の強みであるマーケティング力の共創によりイノベーションを図り、新たな可能性を見いだしながら、商品化に向けて企画開発を進める。</p>		
番号	【ビジネスプラン名】	【発表者】	
6	青森の食文化継承交流ツアー	株式会社フードコミュニケーション (八戸市)	代表取締役 なぎさ なおこ 氏
		<p>【連携者】 株式会社 BioSphia (芦屋市) ・株式会社また旅くらぶ (青森市)</p> <p>【ビジネスプランの概要】 青森の郷土料理と言っても地域によって文化も食材も調理方法も異なる。「青森郷土料理を体験するツアー」を実施し、調理法、産地、文化、歴史とともに体験して繋いで、青森の魅力を「伝える人」を育む。</p>	

	<p>ツアーは、神戸の食の最前線で活躍されている方々に参加していただく。また青森県内からも参加者を募り、「外から見える青森」と「中から見える青森」の魅力を一緒に再発見できる内容とし、アーカイブとして残るよう取材・記録する。</p> <p>世代と地域を超えた食文化創造と継承に向けて、神戸の参加者には、それぞれのお店や売り場の中に青森の食文化のエッセンスを取り入れたメニューづくりを試みてもらい、ここから生まれたメニューが収益の源泉となっていく。</p>
--	--

2 審査員

審査員長	青森県副知事 柏木 司 (かしわぎ つかさ)
副審査員長	青森県商工労働部 部長 三浦 雅彦 (みうら まさひこ)
審査員	神戸市経済観光局 副局長 瀬合 達也 (せごう たつや)
審査員	公益財団法人神戸市産業振興財団 ビジネス開発部 部長 八木 美咲 (やぎ みさき)
審査員	青森県商工労働部地域産業課マーケティング支援グループ グループマネージャー 原 純子 (はら じゅんこ)

3 当日 (2/1 (水)) のスケジュール

14 : 15	開場 受付開始
14 : 30	挨拶 青森県 柏木副知事
14 : 40~ 16:20	青森×神戸・事業共創ビジネスプラン プレゼンテーション、質疑応答
16:20~ 16 : 40	審査結果発表
16 : 40	総評 株式会社フェリシモ 代表取締役 矢崎和彦
16 : 50	終了 (終了後、取材対応、名刺交換等) ~17:30